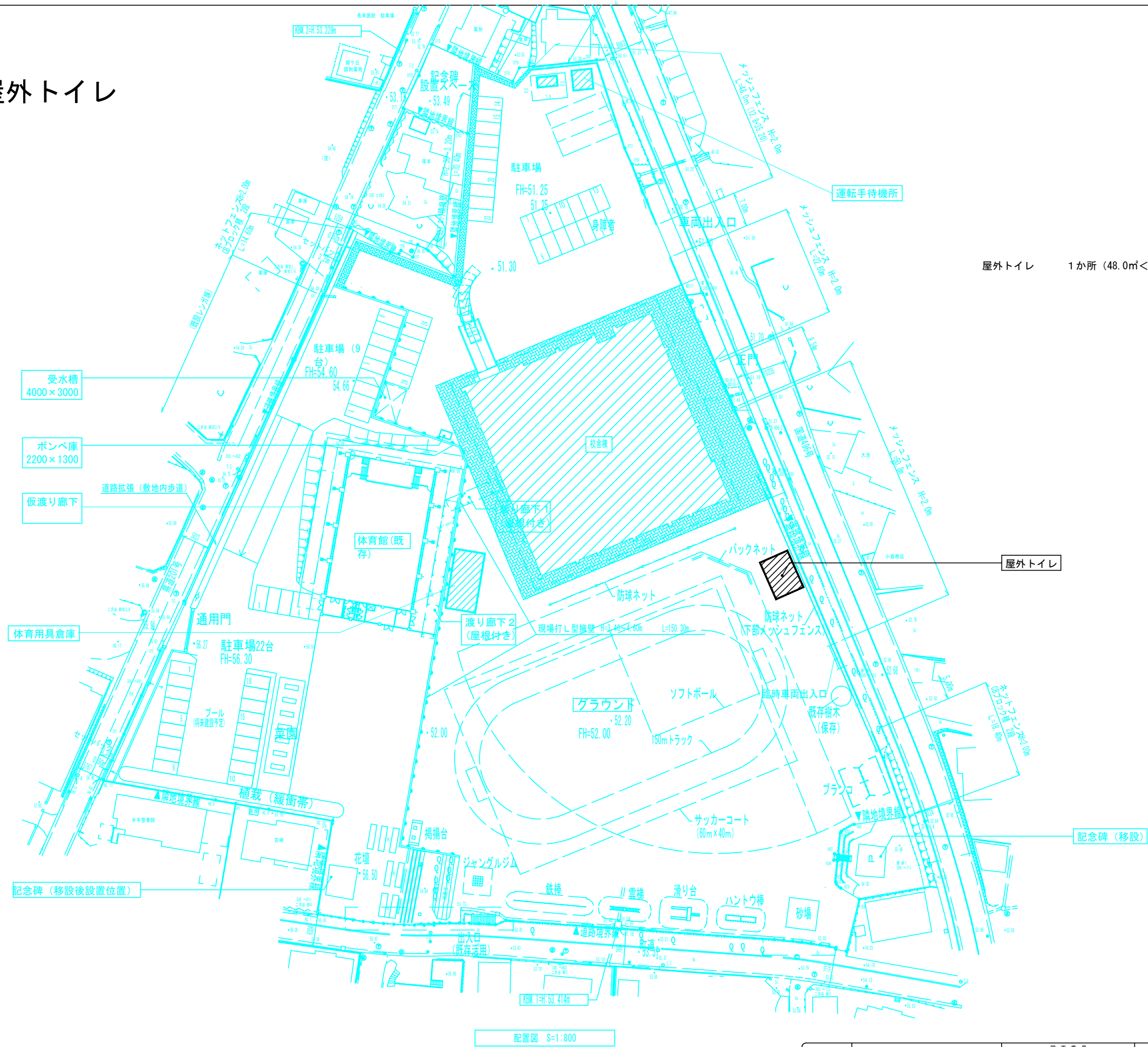


平面図 屋外トイレ



屋外トイレ 1か所 (48.0㎡＜8.0×6.0＞)

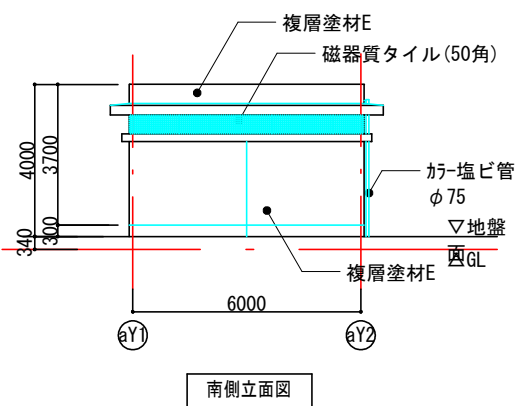
工事名称		豊津小学校屋外トイレ新設工事		図面番号	日付	調査	部長	担当	製図
図名	位置図			意・構・電・設					

16章 建具工事					18章 塗装工事					2節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り					8節 壁紙張り														
16.1.3 防火戸					防火戸の指定： ・図示 ・					18.1.3 材料					1. 塗料のホルムアルデヒド放散量 ＊F☆☆☆☆					19.2.2 材料					19.8.2 材料				
16.1.4 見本の制作等					建具見本の制作： ・必要 ○不要 仮組の実施： ・行う ○行わない 防犯建物部品の適用： ・図示 ・適用 ○適用しない					2. 屋内の壁・天井に使用する塗料は、塗布する基材と同等の防火性を有し、認定を受けた防火材料とする。 3. 屋内で塗布する塗料は、原則としてトルエン・キシレンを含まないものとする。ただし、キシレンは塗料の種類により配合が必要な場合、極力少ないものを選定する。 4. 内装塗装仕上けに使用する塗料は、原則として防汚塗型とする。 5. 塗料は、極力鉛を配合しないもの、あるいは配合量の少ないものから選定する。 6. 次により建築物全般について鉛フリーの塗料を適用する場合は、該当部位に用いる塗り仕様すべての塗料を、原則として鉛を配合しないものとする。 塗料の種類により配合が必要な場合は、塗液中の鉛含有量が0.06%以下のものとする。 指定した色調により着色顔料に鉛が含まれる恐れがある場合は、塗料製造者の製品安全データシート（MSDS）により確認をする。 ＊適用しない ○適用する（○すべての塗料 ・隠ぺい部以外の部分）					19.2.3 施工					19.8.3 施工									
16.2.2 性能及び構造					アルミニウム製建具										19.2.2 材料					19.8.2 材料									
					種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法（mm）																								
					○種 ○-4 ○-3 ○-4 ○0																								
					・B種 ・S-5																								
					・C種 ・S-6 ・A-4 ・H-5 ・100																								
					防音ドアセット、サッシの適用： ・適用（防衛省2級v防音工事適合品） ・適用しない ○																								
					断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ○適用しない ・図示																								
					耐震ドアセットの適用： ・適用 ○適用しない ・図示																								
16.2.3 材料					防虫網の適用： ○適用 ・適用しない ・図示 網の材質： ※合成樹脂製 ・ステンレス⑩ ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形式： ・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式					18.1.5 見本					3節 カーペット敷き					19.9.2 材料									
16.2.4 形状及び仕上げ					建具枠の見込： ・図⑤ ・70 ・100 ・ 外部に面する建具の表面処理： ・B-1種 ○B-2種 屋内の建具の表面処理： ・C-1種 ○ 表面色： ○標準色 ・特注色 引違い建具落下防止機構： ・採用する ・採用しない 水切り板： ○取付ける ・取付けない ぜん板： ○取付ける ・取付けない 結露水の処理方法： ○建具から外へ排出 ・					18.1.8 専門工事業者の選定					4節 合成樹脂塗床					19.9.3 施工									
16.4.2 性能及び構造					鋼製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・S-4 ・S⑤ ・S-6 ・										5節 フローリング張り					その他									
16.2.4 形状及び仕上げ					鋼板種の厚さ： ※標準仕様書表16.4.2Iによる ・ 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ○適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 ・図示										19.5.2 材料					19.9.2 材料									
16.5.2 性能及び構造					鋼製軽量建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示										19.5.3 施工					19.9.3 施工									
16.5.3 材料					鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示 ・ 召合わせ、縦小口包み板等の適用： ・適用 ・適用しない ・図示										7節 せっこうボード、その他ボード及び合板張り														
16.5.4 形状及び仕上げ					材質： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム押出型材 ・ 鋼板種の厚さ： ・図示 ・0.6mm ・1.5mm（ステンレス鋼板） ・1.6mm ・2.3mm ・										19.7.2 材料					19.9.2 材料									
															19.7.3 施工					19.9.3 施工									
16.7.2 材料					木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率の種類： ・A種 ※B種 ・C種 ・フラッシュ戸の心材の中骨、上下桟及び中桟には空気穴を適正に設ける。					19.1.4 見本					ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・（ ） 遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド														
16.8.2 材質、形状及び寸法					建具用金物 金物の種類、材質： ※標準仕様書表16.8.1Iによる ・					1. 不燃・準不燃・難燃・防火・制電性などの指定がある場合は、品質を表示する証票付のものとする。 2. 接着材（釘・ねじ・ビス・ボルト・グリッパ・ステープルなど）・接着剤・充填材・シーリング材などの副資材は、JIS規格がもるものはこれによるものとし、その目的に応じた材質・形状・寸法のもので取付け箇所・工法施工条件に合ったものとする。 3. 下地・加工・仕上げ・取付・養生などの工法は、施工箇所・下地材・仕上材種・形状・寸法・施工条件に適したものである。なお、特定の製造者または専門工事業者が指定されている場合は、その製造者または専門工事業者の仕様による。 また、外装カーテンウォールなどに近接する内装仕上下地・仕上材は、外装部材変形の影響を受けないように縁切りを行い、日常的な熱収縮・層間変形・風圧力などによる異音を抑える工法とする。完成後、異音が発生した場合は、請負者の責任で防止処置を行う。 4. シックハウス対応に係る内装材の品質確認を行う。					19.1.3 材料・工法の選定					ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・（ ） 遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド									
16.8.4 鍵					マスターキー： ○製作する ・製作しない ○マスターキーの本数及び系統については施設管理者及び監督員と協議する。 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・本 鍵箱の適用： ○必要 ・不必要										材 種 表面の品質 厚 さ 工 法														
16.10.3 性能等					自閉式上吊り引戸装置 性能： ※標準仕様書表16.10.1Iによる ・										・普通合板 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・5.5 ・9 ・12 ※A種 ※ラワン程度 ・（しな ） ・15 不透明塗料塗りの場合 ・5.5 ・9 ・12 ・B種 ※しな程度 ・（ ） ・（ ）														
16.14.2 材料					ガラス ガラスの種類： ○図示 ・ ガラス留め材										・木質セメント板 ・硬質木セメント板 ・打込み ・張付け ・敷込み														
					建具の種類 種類・材質										・繊維板 ・パーティクルボード														
					○アルミニウム製 ＊シーリング材・ガラスケット・パテ材（1種・2種）										ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・（ ） パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・（ ）														
					・鋼製 ＊シーリング材・パテ材（1種・2種）																								
					・ステンレス製 ＊シーリング材・パテ材（1種・2種）																								
					・木製 ＊シーリング材・パテ材（木製用 ・ ）																								
					金属性製建具用パテはJIS A5752Iによる。																								

No.4
特記仕様書（3）

20章 ユニット及びその他工事		カーテン及びカーテンレール		22章 舗装工事		8節 ブロック系舗装	
1節 一般事項		施工箇所 カーテン		きれ地名称品質ひだの種類 ポリエステル ブレーン ・片引き ○引分け ・有 ※無 製造所、製品 アスワン(エコマスター) スミエ(トドロキオン) 川島織物(ホスピア) 同等以上		(22.8.2) 舗装の構成及び仕上り	
20.1.3 材料・工法の選定		1. 材料・製品でJIS・JASその他の規格のあるものは、それぞれの規格品または認定品とする。 2. 既製品は見本またはカタログを提出し監理者の承認を受ける。		遮光カーテン ポリエステル ブレーン ・片引き ・引分け ・有 ※無		インターロッキングブロック舗装	
金属系サイディング 仕様・種別・寸法等		塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t16 程度、遮熱性フッ素焼付塗装品、動き幅400、木目調縦張り 木造下地軸組工法、塗装変色保証10年、赤サビ保証10年 外装材及び付属する部材についてはメーカー純正品と同等品とする。		電動遮光カーテン ポリエステル ブレーン ・片引き ・引分け ・有 ※無		種 類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等	
製造所 (製品名)		ケイミュー (株) (はる・一香 和木目柄I)		ホスピタルカーテン ポリエステル ブレーン ・片引き ・引分け ・有 ※無		◎標準ブロック ・透水ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	
ミニキッチン 寸法・規格等 施工箇所 製造所		図示 運転手待機所 (パナソニック(株)) (株)LIXIL () 同等品以上		※遮光用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。 カーテンレール 材種 ※ステンレス製 形状 ※C型又はD型		製造所 (インフラテック(株)) (福岡ILB(株)) (森ブロック工業(株)) 同等品以上	
大型片引戸 寸法・規格等 施工箇所 製造所 (製品名)		図示 図示 (株)LIXIL (アペリッドAL Bタイプ)、 四国化成工業(株) (スタックラインNAI型) 同等品以上		コーナード 材種 ※ステンレス製 (図示による)		(その他) 区画線等 トラフィックペイント JIS K 5665 ※溶融型 (厚1.5) ・加熱型 (厚1.0程度) 区画線幅 ※150 () ○身障者用駐車場スペース表示 ・駐車スペースナンバー表示 (350角)	
メッシュフェンス 寸法・規格等 施工箇所 製造所 (製品名)		図示 図示 朝日スチール工業(株) (ユニフェンスA型) 同等品以上		天井見切縁 材 種 ※アルミニウム押出型材 ○塩化ビニル製 施工箇所 ※仕上表による ○ (図示)		—23章 植栽工事及び屋上緑化工事—	
ネットフェンス 寸法・規格等 施工箇所 製造所 (製品名)		図示 図示 朝日スチール工業(株) (PCフェンス) 同等品以上		点検口		2節 植栽基盤	
ガードレール 寸法・規格等 施工箇所 製造所 (製品名)		溶融亜鉛めっきの上熱硬化性アクリル樹脂系塗装品 Gr-C-20-4 図示 JFE建材(株) (ガードレール) 同等品以上		天 井		一般	
グラント舗装 寸法・規格等 施工箇所 製造所 (製品名)		図示 図示 (株)スポーツテクノ和広 (モストクレイ舗装) 同等品以上		壁		有効土層として整備する面積/厚さ： 図示 ※標準仕様書表23.2.1による 基盤浸透水排水施設の設置： 設置する 設置しない 排水施設： 図示 暗渠 開渠 排水層 縦穴排水 植栽基盤整備工法 (樹木)： ※A種 B種 C種 D種 植栽基盤整備工法 (芝、地被類)： A種 ※B種 C種 D種 土壌改良の適用： 適用する 適用しない	
掲揚台 寸法・規格等 施工箇所 製造所		図示 図示 (株)スポーツテクノ和広 同等品以上		床		材料 植込み用土： 現場発生 の良質土 客土 土壌改良材： バーク堆肥 発酵下水汚泥コンポスト バーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： 適用しない 適用する；	
体育器具・遊具 寸法・規格等 施工箇所 製造所		(社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償保険等の保険に加入したもので、その加入証の写し及び保証書を提出すること。 図示 (株)スポーツテクノ和広 同等品以上		形式 ・一般型 ・簡易密閉型 ・密閉型 (水槽型)		3節 植樹	
				21章 排水工事		材料 樹木の樹種/寸法/株立ち数等： 図示	
		1節 一般事項		4節 アスファルト舗装		新植樹木の枯補償 補償期間： ※引渡しの日から1年	
21.1.3 雨水排水計算書		1. 設計図の雨水排水計画に基づき、着工後速やかに敷地全般を含めた雨水排水計画書を作成し、監理者の承認を受ける。異種工事や関連工事の取り扱いとなる部分ではくちがいのないようし、施工計画調整を行う。 2. 雨水排水計画については、建築設計条件の降雨条件により請負者にて再計算し、施工に反映する。この場合、必要な異、とい部材などは、本工事に含まれるものとする。		(22.4.4) 配合その他			
21.2		排水管 寸法・規格等 * 図示による。		(22.4.5) 施 工			
		側境、排水樹等 寸法・規格等 * 図示による。		(22.4.6) 試 験			
		スチール製グレーチング蓋等 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所 (カネソウ(株)) (福西鋳物(株)) (第一機材(株)) 同等品以上		5節 コンクリート舗装			
		種類		(22.5.3) 材 料			
		形式		(22.5.6) 試 験			
		用途		早強セメント 使用する			
		適用荷重		コンクリート版厚さ試験 行う			
		メインバーピッチ		6節 カラー舗装			
		普通		(22.6.2) 舗装の構成及び仕上り			
		細目		カラー舗装の種類 ・アスファルト混合物 ・樹脂系混合物 ・石油樹脂系混合物 ・ニート工法 ◎塗布工法			
		備考					
		鋼製		◎溝ふた (横断用) ◎溝ふた (側溝用) ・ T-6 用 ・ T-14 用 ◎ますふた用 ◎U字溝用			
		ステンレス製		・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・ますふた用 ・U字溝用			

項 目		建 築	電 気	機 械	(昇降機)	外 構	別 途	備 考	項 目		建 築	電 気	機 械	(昇降機)	外 構	別 途	備 考	項 目		建 築	電 気	機 械	(昇降機)	外 構	別 途	備 考	項 目		建 築	電 気	機 械	(昇降機)	外 構	別 途	備 考			
共 通	工事用電力・上下水道引込工事	○							ビット・マンホール・消火水槽など	消火水槽	○							コンクリート水槽	昇降機	昇降路	○							コンクリート	その他	舗装工事					○			
	工事用電力・上下水道工事 (引込負担金・基本料金を含む)	○								同上用防水・マンホール・タラップ	○									昇降路内ビット防水	○									雨水排水工事					○			
	工事上の各種申請届出費用	○	○	○		○	○			各工事別	同上用フート弁・オーバーフロー管			○							昇降路内ビット点検用タラップ					○					困障工事					○		
											満減水警報・液面電極棒取付			○							各階出入口穴あけ・補強	○									植栽工事					○		
											同上電気配管配線			○							出入口扉・三方枠					○												
											受水槽				○						ステンレス水槽 付属品一式を含む																	
											同上基礎			○							軌条他昇降路内の鉄骨工事	○																
											同上一次側電気配管配線				○						昇降路頂部の吊フック	○																
											ビットの躯体・排水溝				○						ホール押しボタン・インジケーターなどの コンクリート穴あけ	○																
											同上用湧水用水中ポンプ・オーバーフロー管				○						昇降路ビット内保守用コンセント			○														
機械基礎 盤類基礎	コンクリート機器・盤基礎（仕上げ含む）	○					○		設備工事など	満減水警報・液面電極棒取付				○					昇降路頂部煙感知器				○															
	同上アンカーボルト・箱入・埋込			○	○		○			同上電気配管配線				○					電源盤への一次側電気工事				○															
										電動機・同据付				○	○				電源盤以降の二次側電気工事					○														
躯体貫通	梁貫通スリーブ	○	○	○		○			設備工事など	一般制御盤 電動機端子までの電気配管配線	○								その他	避雷設備・接地工事			○															
	同上補強		○							機器付属制御盤・二次側電気配管配線				○	○					サイン工事			○															
	床壁貫通スリーブ・箱入	○	○	○		○				各種機器の接地工事（電気温水機・ パッケージ・ポンプユニットも含む）				○						カーテン・カーテンレール			○															
	同上補強		○							冷凍機・冷温水発生機・ボイラーパッケージ などの遠隔操作用・故障警報用リレー端子取付				○	○					同上電動装置・二次側配線			○															
	各貫通穴あけ箇所の穴うめ・補修	○	○	○		○				受信機 電気配管配線				○							電気時計			○														
躯体以外の 開口・貫通	外壁取付ガラリ	○							設備工事など	電話LAN用配管・端子盤				○					その他	カーテンボックス			○															
	同上接続用アングル・防鳥ネット			○						同上配線・端子				○							消火器				○													
	チャンバーボックス（接続アングル共）			○				設計図による		ウェザカパー・ベンドキャップ				○							同上設置用ボックス			○														
	レタンガラリ			○				設計図による													教室 教卓・机・椅子							○										
	ドアガラリ		○																		同上 黒板			○														
	点検口（床・壁・天井）	○					○														同上 造付家具			○														
排水工事	敷地内雨水排水工事					○		設計図による	設備工事など									その他																				
	屋内雨水排水工事		○																																			
トイレ、 シャワー室など	敷地内汚水・雑排水工事			○						防災消火 設備など																												
	屋内汚水・雑排水工事			○							消火栓ボックス				○																							
	敷地外本管への接続	○		○				設計図による			同上起動用押しボタン・表示灯				○																							
	ユニットシャワー・トイレ	○						付属品一式を含む			消火ポンプ制御盤（起動リレー共）				○																							
	同上一次側電気配管配線			○							同上制御盤までの一次側電源送り				○																							
	同上給排水管接続				○						同上以降の二次側配管配線結線				○																							
	流し台・洗面化粧台	○		○				設計図による			特定防火 設備など	防火戸建具・付属金物・自動閉鎖（開放） 装置	○																									
	同上下地補強	○									同上連動制御器・電源・上記機器間防災盤 までの電気配管配線				○																							
	同上給排水管接続				○																																	
	電気湯沸器（配管接続共）				○																																	
同上一次側電気配管配線				○																																		
欄・トイレブース・手すり		○																																				
同上下地補強		○																																				
化粧鏡					○																																	
化粧洗面カウンター			○																																			
同上洗面器					○																																	



南側立面図

東側立面図

東側立面図

符 形	号 式	② AD	片開き扉	S=1:50	③ AD	片引き扉	S=1:50	④ AD	片開き扉	S=1:50	① TB	トイレブース	S=1:50	② TB	トイレブース	S=1:50	③ TB	トイレブース	S=1:50
数量		2箇所			1箇所			1箇所			1箇所			1箇所			1箇所		
形 寸	状 法	 ▽FL			 ▽FL			 ▽FL			 ▽FL			 ▽FL			 ▽FL		
材質・見込		アルミ	100		アルミ	100		アルミ	100		扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18 全てF☆☆☆☆品			扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18 全てF☆☆☆☆品			扉:フェノール樹脂板t13、前パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18、奥行パネル:フェノール樹脂板t18 全てF☆☆☆☆品		
仕 上		アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理											
附 子		—			型板ガラス(7)4.0			—											
附 属 金 物		丁番、レバーハンドル、番指、戸当たり、ガラリ他附属金物一式			引戸用鍵、番指、シリンダー鍵引手、ハンガーレール、ガラリ、他附属金物一式			丁番、レバーハンドル、番指、戸当たり、ガラリ他附属金物一式			50°トリージ、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式			50°トリージ、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式			50°トリージ、表示付打掛鍵、SUS巾木(H=60)、戸当りフック他附属金物一式		
備 考		—			—			—			—			—			—		

工事名称	豊津小学校屋外トイレ新設工事		図面番号	日付	照査	部長	担当	製図
			/	意・構・電・設				
国名	屋外トイレ 仕上表、平面図、立面図、断面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	No.7					

構 造 特 記 仕 様 書		2019年度版																																													
<p>§1 一般事項</p> <p>選択項目は <input checked="" type="radio"/>印を適用し、<input type="radio"/>印が無い場合は <input type="radio"/>印を適用する。 <input type="radio"/>印が複数有る場合は、共に適用する。</p> <p>1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。</p> <p>1-2 設計図書の優先順位は下記による。</p> <p>1)本特記仕様書 2)設計図 3)標準図</p> <div> <div> <input checked="" type="radio"/>鉄筋コンクリート構造配筋標準図 <input checked="" type="radio"/>鉄骨工作標準図 </div> <div> <input checked="" type="radio"/>鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 <input checked="" type="radio"/>高強度せん断補強筋施工仕様書 </div> </div> <div> <input checked="" type="radio"/>鉄筋コンクリート壁式標準配筋図 </div> <p>4)仕様書(<input checked="" type="radio"/>公共建築協会 <input checked="" type="radio"/>日本建築家協会)</p> <p>5)日本建築学会標準仕様書、JASS5(2018)、JASS6(2018)</p> <p>1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。</p> <p>1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。</p> <p>第三者機関による検査・試験費用は工費費に (<input checked="" type="radio"/>含む <input type="radio"/>含まない)</p> <p>1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。</p> <p>1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は(<input checked="" type="radio"/>意匠図 <input checked="" type="radio"/>構造図 <input checked="" type="radio"/>設備図)による。</p> <p>1-7 その他</p>		<p>4-5 場所打鉄筋コンクリート杭場所打鋼管コンクリート杭</p> <p>1)工法</p> <ul style="list-style-type: none"> アースドリル工法 リバーシ工法 BH工法 底底アースドリル工法 オールケーシング工法 (<input checked="" type="radio"/>ベント工法 <input checked="" type="radio"/>) <p>2)杭径・設計耐力・本数表(杭底部は施工径を示す)</p> <ul style="list-style-type: none"> 杭伏図、杭リストによる <p>3)杭先端深さ GL- m</p> <p>4)孔壁面定 (2 方向)</p> <p>* 行う (<input checked="" type="radio"/>全数 <input checked="" type="radio"/> %) <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>5)使用材料</p> <p>コンクリート Fc (<input checked="" type="radio"/>普通ポルトランドセメント <input checked="" type="radio"/>高炉セメント B種)</p> <p>鉄筋</p> <ul style="list-style-type: none"> D16 以下 SD295A D25 以上 SD345 D29 以上 SD390 SKK400 SKK490 <p>鋼管(リブ付)</p> <p>4-6 杭打地業共通事項</p> <p>1) [<input checked="" type="radio"/>試験杭 <input checked="" type="radio"/>試験圖] <input checked="" type="radio"/>行う(本) <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>2)載荷試験 <input checked="" type="radio"/>行う(箇所・長期設計耐力の3倍を確認する) <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>3)SL表示 <input checked="" type="radio"/>行う <input checked="" type="radio"/>行わない</p>																																													
<p>§2 構造計算ルート</p> <p>2-1</p> <table> <tr> <th>方 向</th><th colspan="4">構造計算ルート</th></tr> <tr> <td>X</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート1</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート2</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート3</td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr> <tr> <td>Y</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート1</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート2</td><td><input checked="" type="radio"/>ルート3</td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr> </table> <p>2-2 鉄筋の継手</p> <p>構造計算ルート別による主筋又は、耐力筋の鉄筋の継手の重ね長さ</p> <p><input checked="" type="radio"/>建築基準法施行令第73条(政令第73条第2項)による仕様規定</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本建築学会 JASS5(2018)鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説 日本建築学会 RC規準2018 <p>XY両方向共にルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができ。</p> <p>ルート1の場合は、大梁(地中梁含む)主筋の定重ね長は、40d以上とする。</p>		方 向	構造計算ルート				X	<input checked="" type="radio"/> ルート1	<input checked="" type="radio"/> ルート2	<input checked="" type="radio"/> ルート3	<input checked="" type="radio"/>	Y	<input checked="" type="radio"/> ルート1	<input checked="" type="radio"/> ルート2	<input checked="" type="radio"/> ルート3	<input checked="" type="radio"/>	<p>5-1</p> <table> <tr> <th>材 種</th><th>種 類</th><th>径</th><th>継 手</th></tr> <tr> <td rowspan="4"><input checked="" type="radio"/>SD295A</td><td rowspan="2"><input checked="" type="radio"/>SD345</td><td>D16 以下</td><td><input checked="" type="radio"/>重ね継手 <input checked="" type="radio"/>スパイラル <input checked="" type="radio"/>工場溶接</td></tr> <tr> <td>D19 以上 D25 以下</td><td><input checked="" type="radio"/>重ね継手 <input checked="" type="radio"/>ガス圧接 <input checked="" type="radio"/>溶接継手</td></tr> <tr> <td rowspan="2"><input checked="" type="radio"/>SD390</td><td>D29 以上</td><td>* ガス圧接 <input checked="" type="radio"/>溶接継手 <input checked="" type="radio"/>機械継手(級)</td></tr> <tr> <td>D 以上</td><td>* ガス圧接 * 溶接継手 * 機械継手(級)</td></tr> <tr> <td rowspan="4"><input checked="" type="radio"/>SD490</td><td rowspan="2"><input checked="" type="radio"/>溶接金網</td><td></td><td>* 重ね継手</td></tr> <tr> <td></td><td>* フック加工 <input checked="" type="radio"/>スパイラル <input checked="" type="radio"/>工場溶接</td></tr> <tr> <td rowspan="2"><input checked="" type="radio"/>高強度せん断補強筋</td><td><input checked="" type="radio"/>1275級 P</td><td></td></tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>785級 K</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td><input checked="" type="radio"/>685級 U</td><td></td></tr> </table> <p>5-2</p> <p>ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)</p> <p><input checked="" type="radio"/>抜取り検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/>引張り試験 (JISZ3120) <ul style="list-style-type: none"> 1 検査ロットにつき <input checked="" type="radio"/>3 本 <input checked="" type="radio"/>原則 柱・梁の径毎に3本 <input checked="" type="radio"/>超音波探傷試験 (JISZ3062) <ul style="list-style-type: none"> 1 検査ロットにつき <input checked="" type="radio"/>30 箇所 <input checked="" type="radio"/>不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。 1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数で200箇所以内 <p>5-3 溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他日本継手協会仕様書(2017年)による。</p> <p>5-4 梁貫通補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。</p> <p>5-5 その他</p> <p>基礎梁、基礎小梁の継手及び定端は原則として <input checked="" type="radio"/>①一般 <input checked="" type="radio"/>②地反力を受ける <input checked="" type="radio"/>③上載荷重が大きい場合 とする。</p> <p>梁の奈良 <input checked="" type="radio"/>採用 大梁・小梁 * D' (梁有効長) <input checked="" type="radio"/>端部上下筋15d 中央上下筋20d <input checked="" type="radio"/>端部上下筋15d 中央上下筋20d</p> <p>鉄筋の組立は適切な位置にスパーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。</p> <p>コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。</p> <p>コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。</p>	材 種	種 類	径	継 手	<input checked="" type="radio"/> SD295A	<input checked="" type="radio"/> SD345	D16 以下	<input checked="" type="radio"/> 重ね継手 <input checked="" type="radio"/> スパイラル <input checked="" type="radio"/> 工場溶接	D19 以上 D25 以下	<input checked="" type="radio"/> 重ね継手 <input checked="" type="radio"/> ガス圧接 <input checked="" type="radio"/> 溶接継手	<input checked="" type="radio"/> SD390	D29 以上	* ガス圧接 <input checked="" type="radio"/> 溶接継手 <input checked="" type="radio"/> 機械継手(級)	D 以上	* ガス圧接 * 溶接継手 * 機械継手(級)	<input checked="" type="radio"/> SD490	<input checked="" type="radio"/> 溶接金網		* 重ね継手		* フック加工 <input checked="" type="radio"/> スパイラル <input checked="" type="radio"/> 工場溶接	<input checked="" type="radio"/> 高強度せん断補強筋	<input checked="" type="radio"/> 1275級 P		<input checked="" type="radio"/> 785級 K				<input checked="" type="radio"/> 685級 U	
方 向	構造計算ルート																																														
X	<input checked="" type="radio"/> ルート1	<input checked="" type="radio"/> ルート2	<input checked="" type="radio"/> ルート3	<input checked="" type="radio"/>																																											
Y	<input checked="" type="radio"/> ルート1	<input checked="" type="radio"/> ルート2	<input checked="" type="radio"/> ルート3	<input checked="" type="radio"/>																																											
材 種	種 類	径	継 手																																												
<input checked="" type="radio"/> SD295A	<input checked="" type="radio"/> SD345	D16 以下	<input checked="" type="radio"/> 重ね継手 <input checked="" type="radio"/> スパイラル <input checked="" type="radio"/> 工場溶接																																												
		D19 以上 D25 以下	<input checked="" type="radio"/> 重ね継手 <input checked="" type="radio"/> ガス圧接 <input checked="" type="radio"/> 溶接継手																																												
	<input checked="" type="radio"/> SD390	D29 以上	* ガス圧接 <input checked="" type="radio"/> 溶接継手 <input checked="" type="radio"/> 機械継手(級)																																												
		D 以上	* ガス圧接 * 溶接継手 * 機械継手(級)																																												
<input checked="" type="radio"/> SD490	<input checked="" type="radio"/> 溶接金網		* 重ね継手																																												
			* フック加工 <input checked="" type="radio"/> スパイラル <input checked="" type="radio"/> 工場溶接																																												
	<input checked="" type="radio"/> 高強度せん断補強筋	<input checked="" type="radio"/> 1275級 P																																													
		<input checked="" type="radio"/> 785級 K																																													
		<input checked="" type="radio"/> 685級 U																																													
<p>§3 仮設工事・土工</p> <p>3-1 山留め、根切り</p> <p>3-2 埋戻し土、盛土、残土処分</p> <p>埋戻し土 <input checked="" type="radio"/>根切り土の中の良土 <input checked="" type="radio"/>搬入良土</p> <p>盛土 <input checked="" type="radio"/>根切り土の中の良土 <input checked="" type="radio"/>搬入良土</p> <p>残土処分 <input checked="" type="radio"/>場内地均し <input checked="" type="radio"/>場外搬出処分(* 自由 <input checked="" type="radio"/>指定場所)</p>		<p>§4 地業工事</p> <p>4-1 基礎及びスラブ下地業 (単位:mm)</p> <table> <tr> <th rowspan="2">場 所</th><th rowspan="2">捨てコンクリート厚さ</th><th colspan="2">※ (1)</th><th rowspan="2">厚 さ</th></tr> <tr> <th>A : 砕石</th><th>B : 断梁石</th></tr> <tr> <td rowspan="2">基 礎</td><td>独立布</td><td>* 50 * 60 * 100</td><td>* A * B</td><td>* 60 * 100 * 150 *</td></tr> <tr> <td>ベ タ</td><td>◎ 50 * 60 * 100</td><td>* A * B</td><td>* 60 * 100 ◎ 150 *</td></tr> <tr> <td rowspan="2">基 礎 梁</td><td>◎ 50 * 60 * 100</td><td>◎ A * B</td><td>◎ 60 * 100 * 150 *</td><td></td></tr> <tr> <td>構造スラブ</td><td>◎ 50 * 60 * 100</td><td>◎ A * B</td><td>◎ 60 * 100 * 150 *</td></tr> <tr> <td rowspan="2">土間コンクリート</td><td>屋内</td><td>* 50 * 60 * 100</td><td>* A * B</td><td>* 60 * 100 * 150 *</td></tr> <tr> <td>屋外</td><td>* 50 * 60 * 100</td><td>* A * B</td><td>* 60 * 100 * 150 *</td></tr> </table> <p>注 (1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。</p> <p>(2)端部aは100以上とする。</p> <p>4-2 設計地耐力 長期 30.50 kN/m² 短期 60.100 kN/m² 終局 — kN/m²</p> <p>地耐力載荷試験 <input checked="" type="radio"/>行う(箇所・長期設計耐力の3倍を確認する) <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>4-3 地盤改良</p> <ul style="list-style-type: none"> 無筋コンクリート地業 締固め工法 ソイルセメント杭 セメント系固化材複挿 圧密排水工法 <p>[<input checked="" type="radio"/>載荷試験 <input checked="" type="radio"/>一軸圧縮試験] <input checked="" type="radio"/>行う (箇所) <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>[<input checked="" type="radio"/>六価クロム溶出試験] <input checked="" type="radio"/>行う <input checked="" type="radio"/>行わない</p> <p>4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭</p> <p>1)杭種</p> <ul style="list-style-type: none"> PHC杭 ST杭 SC杭 t mm CPR杭 密付PHC杭 A種 B種	場 所	捨てコンクリート厚さ	※ (1)		厚 さ	A : 砕石	B : 断梁石	基 礎	独立布	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *	ベ タ	◎ 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 ◎ 150 *	基 礎 梁	◎ 50 * 60 * 100	◎ A * B	◎ 60 * 100 * 150 *		構造スラブ	◎ 50 * 60 * 100	◎ A * B	◎ 60 * 100 * 150 *	土間コンクリート	屋内	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *	屋外	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *											
場 所	捨てコンクリート厚さ	※ (1)			厚 さ																																										
		A : 砕石	B : 断梁石																																												
基 礎	独立布	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *																																											
	ベ タ	◎ 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 ◎ 150 *																																											
基 礎 梁	◎ 50 * 60 * 100	◎ A * B	◎ 60 * 100 * 150 *																																												
	構造スラブ	◎ 50 * 60 * 100	◎ A * B	◎ 60 * 100 * 150 *																																											
土間コンクリート	屋内	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *																																											
	屋外	* 50 * 60 * 100	* A * B	* 60 * 100 * 150 *																																											

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2019年度版

4-4
補助筋

4-5
小梁及び片持梁

4-6
基礎梁及び基礎小梁

4-7
梁の貫通補強

5-1
鉄筋の折り曲げ及び定着

5-2
継手

5-3
片持ちスラブ

5-4
補強筋

6-2
壁配筋

6-3
補強筋

7-4
基礎と基礎梁

8-1
階段

8-2
土間コンクリート

8-3
打増し補強

8-4
増層予定

7-1
独立基礎

7-2
杭基礎

7-3
べた基礎継手及び定着

8-5
その他

工事名称
豊津小学校屋外トイレ新設工事

図名
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

縮尺
1/50

図番
S/03

意
機・電・設

目付
1/50

照査
1/50

部長
1/50

担当
1/50

製図
1/50

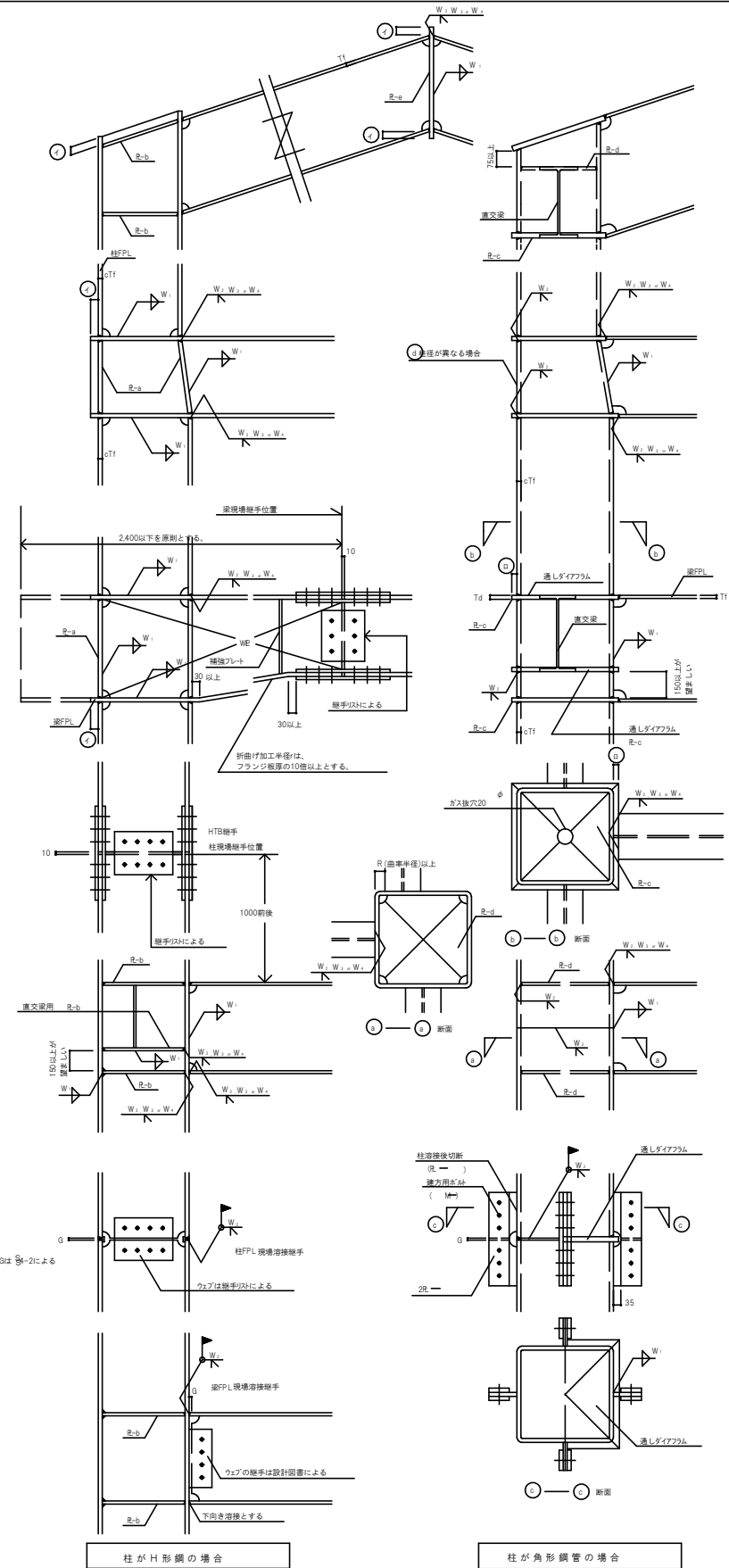
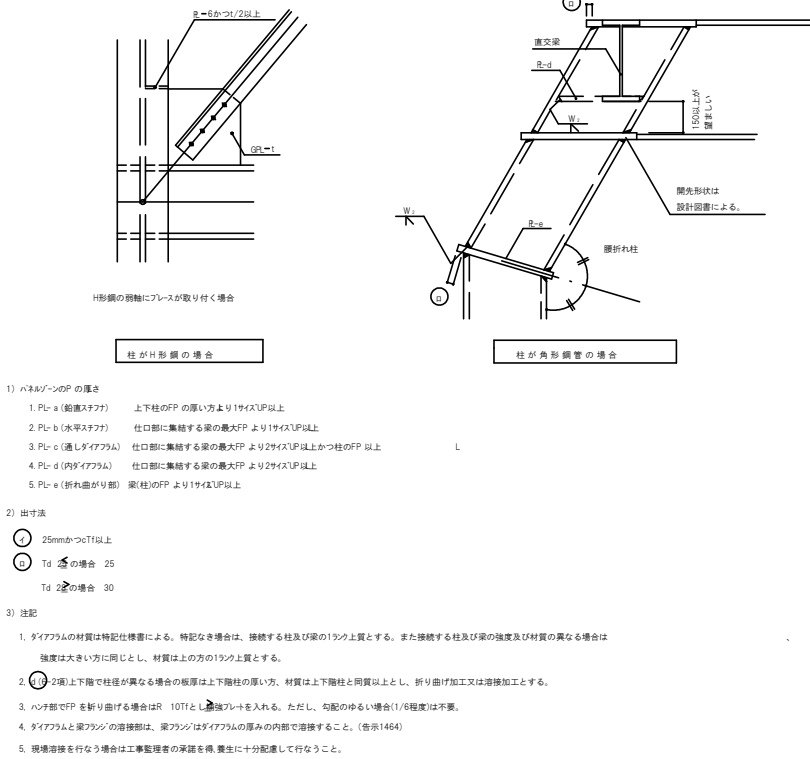
No.10

鉄 骨 工 作 標 準 図 （ 1 ） 2019年度版	
1－1 基 本 事 項	§ 1 一般事項 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様による。 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様1-2-4.5に指定した共通仕様書及び標準仕様書による。 3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6 鉄骨精度検査基準 による。 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。
1－2 そ の 他	
2－1 略 号	§ 2 共通事項 ○ A B アンカボルト ○ B P L ベースプレート ○ D F P L ダイヤフラム ○ F P L フランジプレート ○ H T B 高力ボルト ○ S P L スライスプレート ○ W P L ウェブプレート ○ B H 組立て桁鋼 ○ G H P L ギャッププレート ○ F B フラットバー ○ G P L ガゼットプレート ○ R P L リブプレート ○ T B タンバール ○ W 1-g 溶接記号(§ 4 参照)
3－1 高 力 ボ ル ト	§ 3 ボルト接合 ボルトの長さ ボルトの呼び径 呼び径 M16 30 25 M20 35 30 M22 40 35 M24 45 40 1. 特記以外はすべてS10T以外の形高力ボルト、上面又はF10Tとする。 2. 本鋼に使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。 3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩損面を等クランクヤンダー掛け等を行い、異皮を除去して一様 に赤さびを自然発生させる。ただし、シールドガス等を行った場合はこの限りでない。締め 4. 屋船めっきボルトの場合は、すべてS7とする。 ボルトの呼び径 呼び径 M16 30 25 M20 35 30 M22 40 35 M24 45 40 1. 特記以外はすべてS10T以外の形高力ボルト、上面又はF10Tとする。 2. 本鋼に使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。 3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩損面を等クランクヤンダー掛け等を行い、異皮を除去して一様 に赤さびを自然発生させる。ただし、シールドガス等を行った場合はこの限りでない。締め 4. 屋船めっきボルトの場合は、すべてS7とする。
3－2 高 力 ボ ル ト ピ ッ チ	ボルトの呼び径 呼び径 M16 30 25 M20 35 30 M22 40 35 M24 45 40 1. 特記以外はすべてS10T以外の形高力ボルト、上面又はF10Tとする。 2. 本鋼に使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。 3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩損面を等クランクヤンダー掛け等を行い、異皮を除去して一様 に赤さびを自然発生させる。ただし、シールドガス等を行った場合はこの限りでない。締め 4. 屋船めっきボルトの場合は、すべてS7とする。
3－3 形 鋼 の ゲ ー ジ	ボルトの呼び径 呼び径 M16 30 25 M20 35 30 M22 40 35 M24 45 40 1. 特記以外はすべてS10T以外の形高力ボルト、上面又はF10Tとする。 2. 本鋼に使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。 3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩損面を等クランクヤンダー掛け等を行い、異皮を除去して一様 に赤さびを自然発生させる。ただし、シールドガス等を行った場合はこの限りでない。締め 4. 屋船めっきボルトの場合は、すべてS7とする。

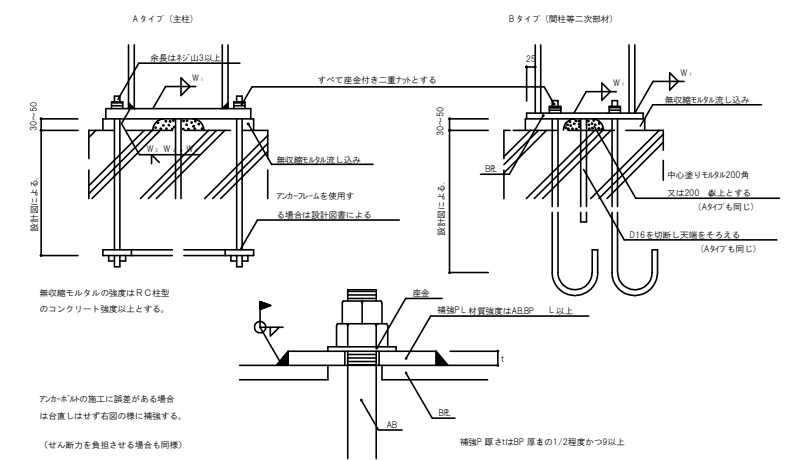
4－1 隅 肉 溶 接	§ 4 溶接接合 隅肉溶接
----------------	--

鉄骨工作標準図(2) 2019年度版

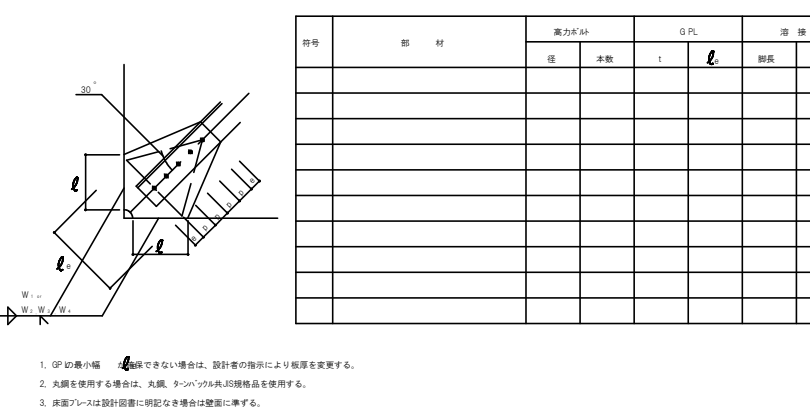
8-6 柱梁接合部及び継手

6-6
その他7-1
一般柱脚

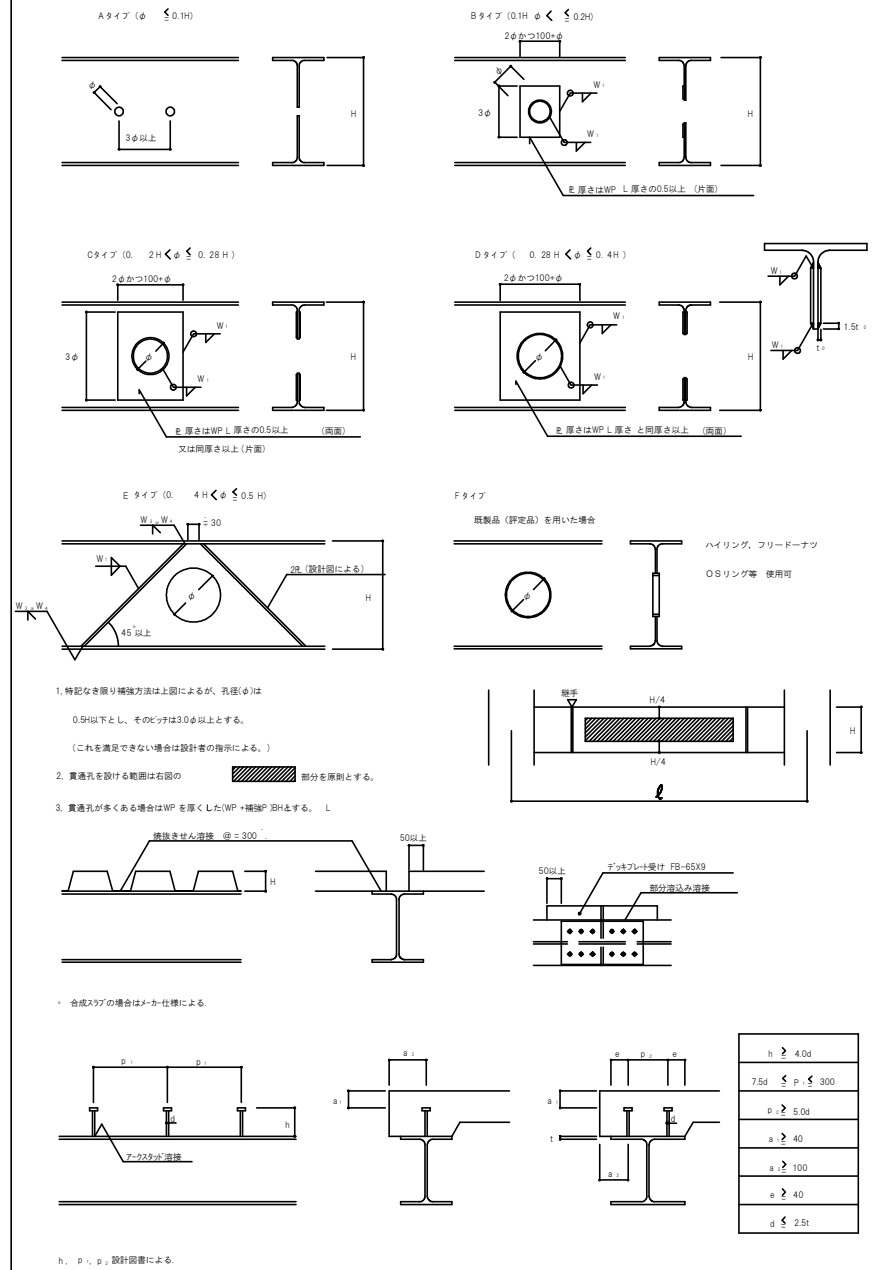
8-7 柱脚

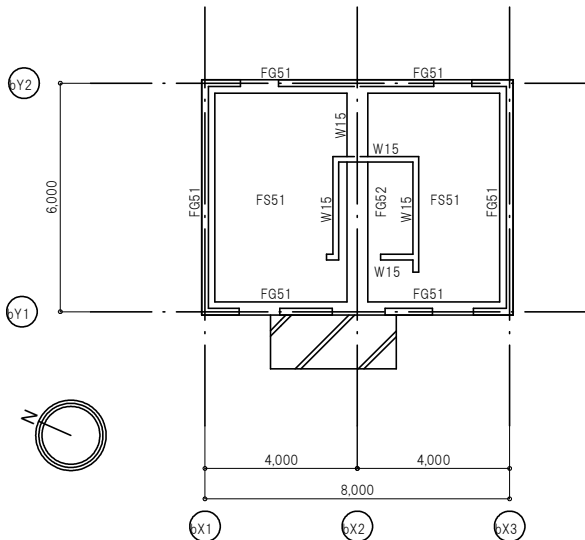
8-1
ブレースリスト

8-8 壁面ブレース

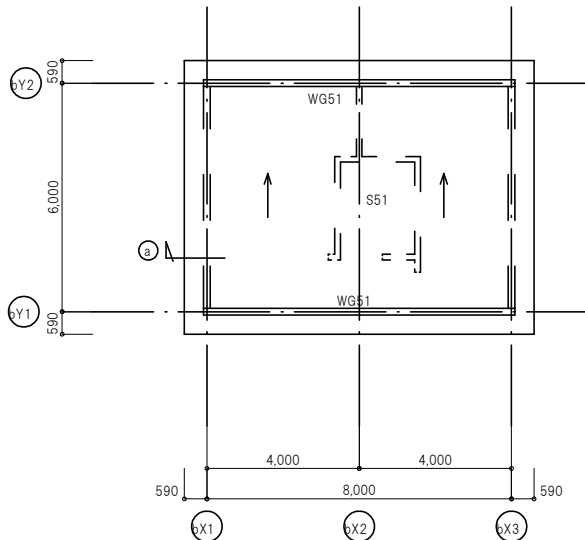
9-1
貫通補強

9-9 その他


9-2
デッキプレート9-3
スタッド・ヘル9-4
壁筋の溶接




1階床梁伏図 1/100

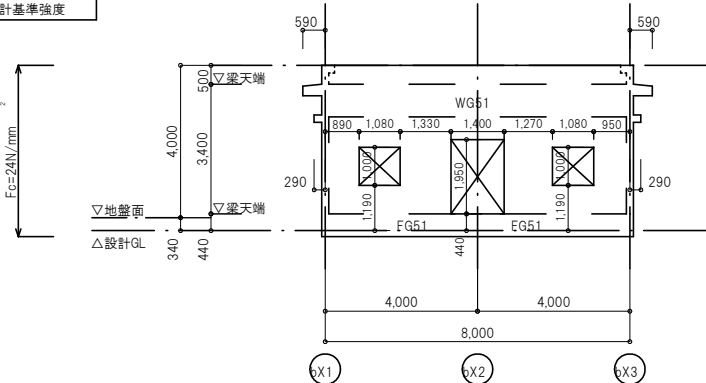


屋根伏図 1/100

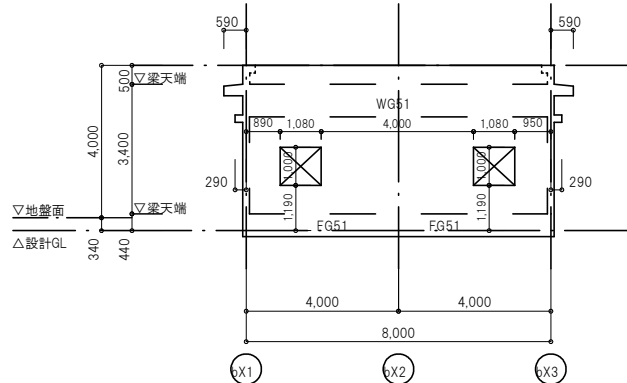
特記なき限り下記による	
1	壁符号は、W18とする。
2	梁天端レベルは、設計GL+440とする。
3	スラブ天端レベルは、設計GL+440とする。
4	スラブ下は、浅層混合処理による地盤改良を実施すること。
5	 印は、土間コンクリート範囲を示す。 天端レベルは、設計GL+340とする。

特記なき限り下記による	
1	梁天端レベルは、軸組図による。
2	スラブ天端レベルは、水勾配による。
3	 印は、水勾配を示す。

コンクリート
設計基準強度

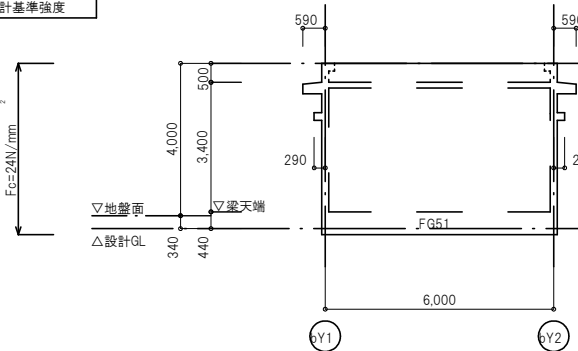


bY1通り軸組図 1/100

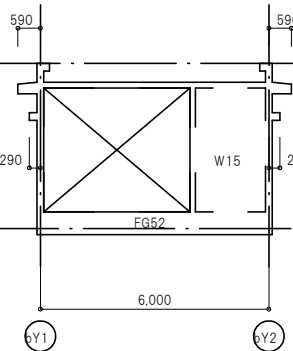


bY2通り軸組図 1/100

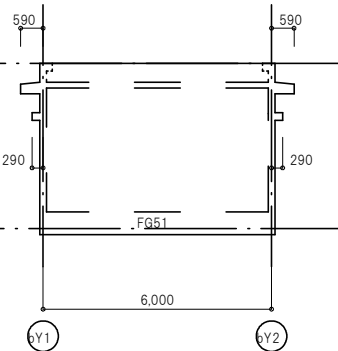
コンクリート
設計基準強度



bX1通り軸組図 1/100



bX2通り軸組図 1/100

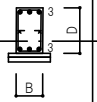
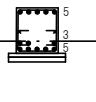


bX3通り軸組図 1/100

特記なき限り下記による	
1	壁符号は、W18とする。

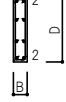
基礎梁リスト 1/50

- 特記なき限り下記による
- 鉄筋材質 D16以下 : SD295A
D19 : SD345
 - 幅止筋は、D10@1,000以内とする。

符 号	FG51	FG52
位 置	全断面	全断面
設計GL 断面		
B x D	350x600	550x600
上端筋	3-D19	5-D19
下端筋	3-D19	8-D19
スターラップ	□-D10@200	□-D13@200
腹筋	2-D13	2-D13



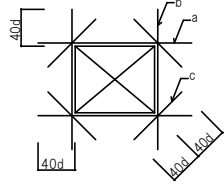
壁梁リスト 1/50

- 特記なき限り下記による
- 鉄筋材質 D16以下 : SD295A
 - 幅止筋は、D10@1,000以内とする。

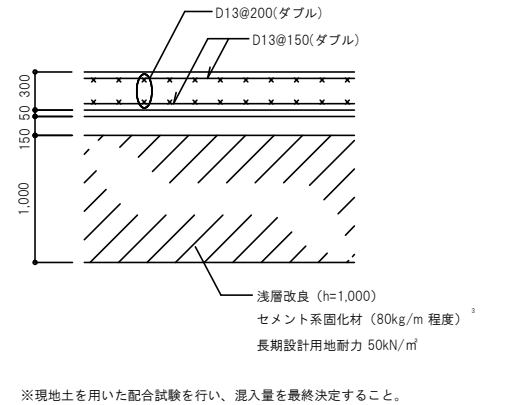
符 号	WG51
位 置	全断面
断 面	
B x D	180x850
上端筋	2-D16
下端筋	2-D16
スターラップ	□-D10@200
腹筋	4-D10

壁リスト 1/50

- 特記なき限り下記による
- 幅止筋は、D10@1,000以内とする。
 - 断面図は、垂直断面を示す。

符 号	W15	W18	開口部補強要領
壁 厚	150	180	
断 面			 a (ヨコ補強筋) b (タテ補強筋) c (斜め補強筋) 開口部が柱梁に接する部分は補強を要しない
縦 筋	D10@200(ナ+リ)	D10@200(ダブル)	開口部が柱梁に接する部分は補強を要しない
横 筋	D10@200(ナ+リ)	D10@200(ダブル)	
開口部補強筋	縦 2-D13	2-D13	
	横 2-D13	2-D13	
備 考	斜 1-D13	1-D13	

地盤改良 要領図 1/30

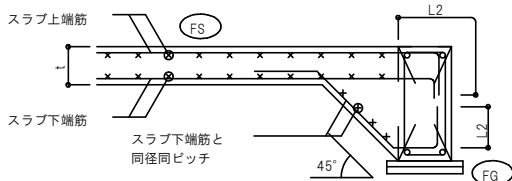


スラブリスト

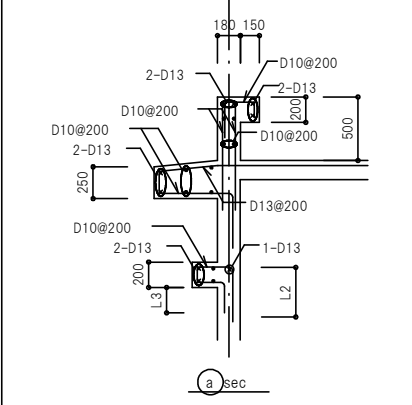
- 特記なき限り下記による
- 土に接するスラブ下には、地業（捨てコンクリート:t=50,砕石:t=150）を施すこと。

符号	版厚	位 置	短辺方向	長辺方向	備考
S51	150	上端筋	D10,D13@200	D10@200	
		下端筋	D10@200	D10@200	
FS51	300	上端筋	D13@150	D13@200	
		下端筋	D13@150	D13@200	

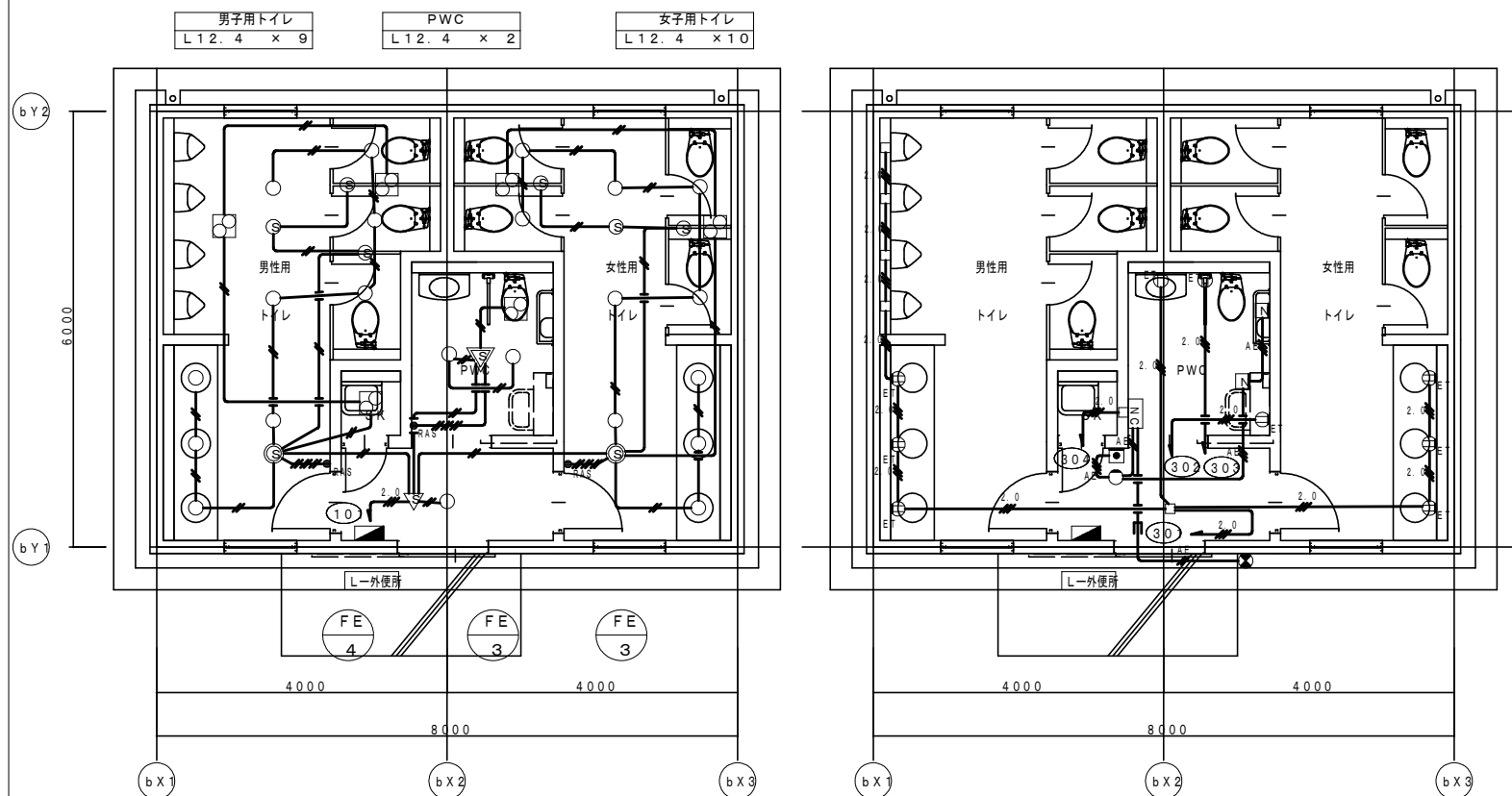
ベタ基礎配筋要領図 1/30



バラベツ配筋図 1/30

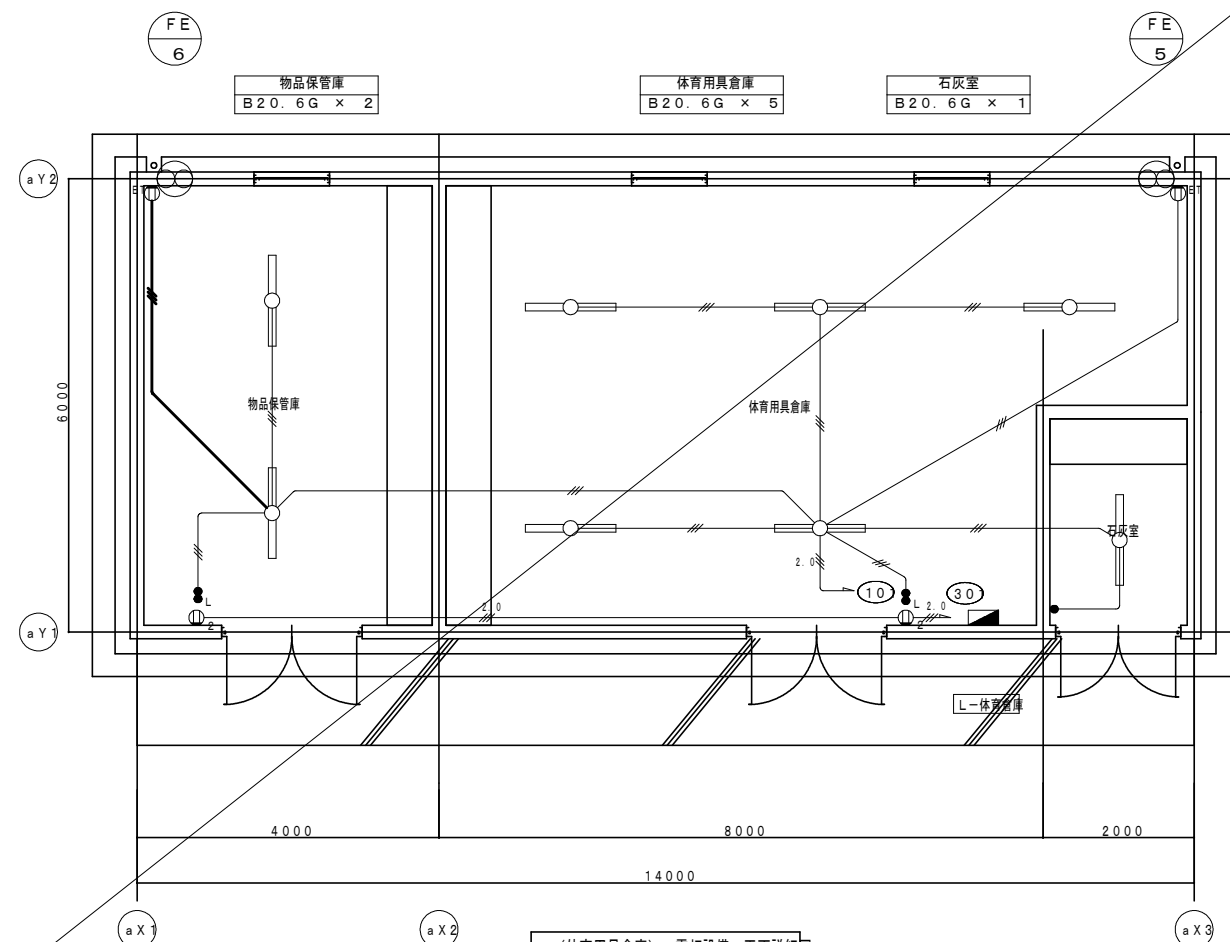


工事名称			豊津小学校屋外トイレ新設工事			図面番号		日付		調査	部長	担当	製図
						E / 01 意・構・電・設							
図名	電気仕記仕様書	版	R										
		N/S		No.14									

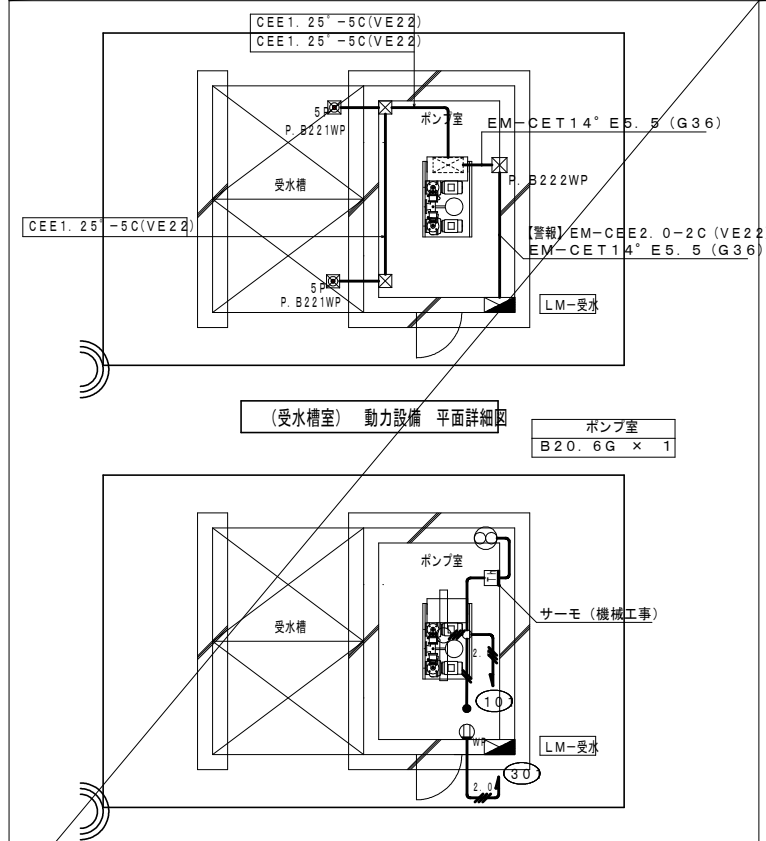


(屋外トイレ) 電灯設備 平面詳細図

(屋外トイレ) 弱電設備 平面詳細図

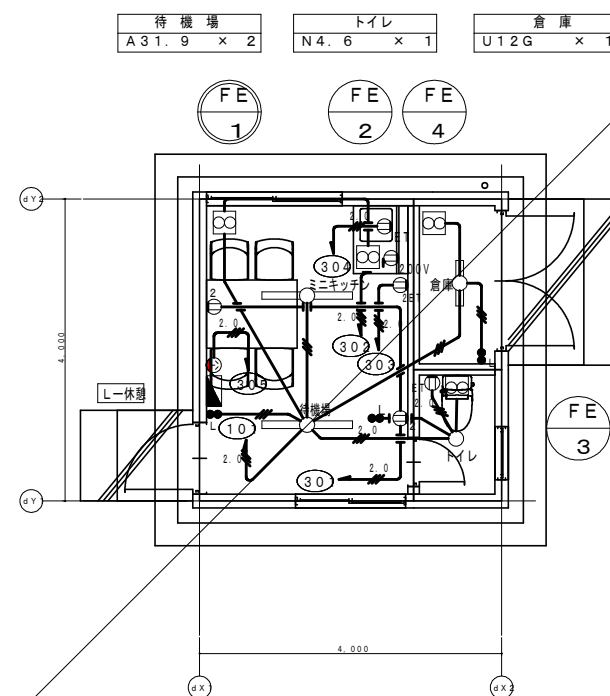


(体育用具倉庫) 電灯設備 平面詳細図



























(受水槽室) 動力設備 平面詳細図

(受水槽室) 電灯設備 平面詳細図



(運転手待機所) 電灯設備 平面詳細図

凡例・注記

凡 例	注 記	
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	分電盤結線図参照
	電灯 動力分電盤	分電盤結線図参照
	照明器具	照明器具姿図参照
	照明器具	照明器具姿図参照
	埋込スイッチ	1 P 1 5 A × 1 金属、 P
	埋込スイッチ	P L × 1 金属、 P
	センサースイッチ	自動、手動、切
	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 2 金属、 P
	埋込コンセント (エアコン用)	2 P 1 5 / 2 0 A + E × 1 金属、 P
	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 1、 E T 付 金属、 P
	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 2、 E T 付 金属、 P
	埋込コンセント (2 0 0 V 用)	2 P 1 5 A ・ 2 0 A 兼用 × 1、 E 種、 E T 付 金属、 P
	電極	極数は傍記
	換気扇又は天井扇	機械設備工事
	プルボックス	サイズは注記参照
	丸型露出ボックス	3方出 G 1 6 (塗装共)
	トイレ呼出表示器 (1 窓)	
	トイレ呼出ボタン (ひも付き)	
	復旧ボタン	
	ブザー付表示灯	
	回転灯	
	人感センサー (換気扇連動)	
	人感センサー観機 (換気扇連動)	
	人感センサー子機	

[illegible]

18

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用、適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し、集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物の適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

建設副産物の処理について

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類（コンクリート塊）（アスファルト塊） ・木くず ・汚泥 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず
特別管理産業廃棄物	
<ul style="list-style-type: none"> ・廃石綿等 <p>「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・PCB等 <p>「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。</p>	
※参考受入場所は現場説明書による	

建設副産物の処理内容

処 理 内 容	備 考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬、処分	
「建設副産物の処置計画画」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

19

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。

業務用冷凍空調機器の有無の確認結果を添付し、業務用冷凍空調機器の有無の確認結果を添付し、引取証明書、業者登録書のコピー

引取証明書、業者登録書のコピー

第1種フロン類充てん回収業者・・・フロン類回収・運搬

フロン類破壊・再生業者・・・フロン類破壊処理、一部再生利用

フロン処理について

※ 工事請負業者は、第1種フロン類充てん回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類充てん回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図書に添付すること。

※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。

20

1 水源

2 配管材料

3 接続部の防止対策

4 試験

・雨水

・雑用水処理水

・井水

一般配管

・塩化ビニル管（SGP-VA）

・ポリ粉体鋼管（SGP-PA）

・塩化ビニル管（SGP-VB）

・ポリ粉体鋼管（SGP-PB）

・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）（屋内）・鉄鋼管（型種）

・ステンレス鋼管（SUS）（圧縮接続・溶接接続・拡管接続）

・塩化ビニル管（SGP-VD）

・ポリ粉体鋼管（SGP-PD）

※ プルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること

・塩化ビニル管（SGP-VD）

・ポリ粉体鋼管（SGP-PD）

・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP）

・水道用硬質塩化ビニル管（VP）

※ プルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること

・ポリエチレン管（PE）（溶着接続・金属継手接続）

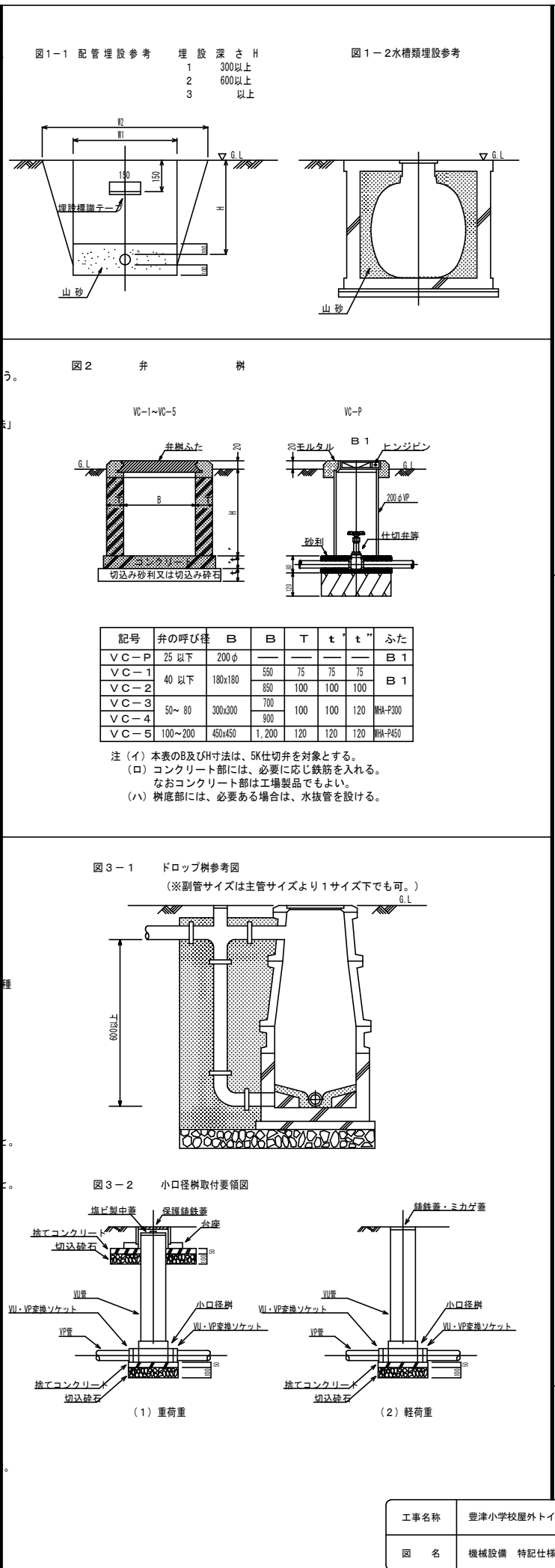
配管等	注
屋内隠ぺい配管	1. 保温前の積管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1個所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の積管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の要所には「処理水」と表示する。
地中埋設部	1. 埋設前の積管に若草色の表示テープを1個所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
コンクリート内埋設部の配管	2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作を恐れのある箇所には、標示板等を取り付け「処理水」であることを識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの設置は「処理水」入りを使用すること。

注）若草色とは黄緑色をいう。
処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市管工事組合に常備し、井水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を茶色に」、「処理水」を雑用水」と読みかえる。

21

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。

建設副産物の処理について

[illegible]

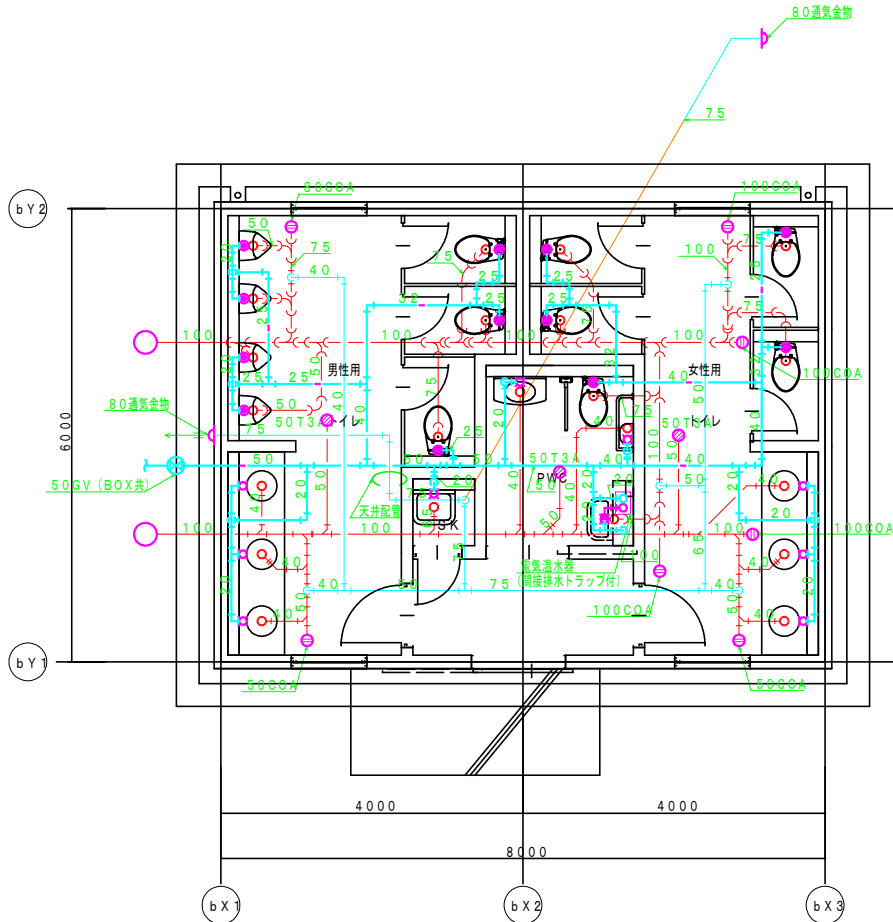
衛生器具表

品名	付属品（ＴＯＴＯ参考品番）	数量	備考
洋風大便器	CFS494NHNA, TC291J, HP4307, YH702 フラッシュバルブ式、普通便座、フランチ、棚付2連紙巻器	7	男性用トイレ 女性用トイレ
洋風大便器	CFS494NHNA, TCF5523PR, TH343R, HP4307, YH702 フラッシュバルブ式、ウォシュレット、接続金具、フランチ、棚付2連紙巻器	1	PWC
壁掛小便器	UFS900JS 低リップ、自動洗浄	4	男性用トイレ
洗面器 (カウンター：建築工事)	L582CS, TENA41A, T7PW1, TL516GR 自動水栓、排水金具、ブラケット	6	男性用トイレ 女性用トイレ
洗面器	L270CM, TEN77G1, T7PW1, TL220D 自動水栓、排水金具、バックハンガー	1	PWC
埋込手洗器	LSE570APR 自動水栓	1	PWC
コンパクトオストメイトパック	UAS81RDB2, UTR141 ロータンク、タッチスイッチ式、シングルレバーアウト水栓、電気温水器、水石けん入れ、紙巻器、前板、甲板、幅木、設置フレーム、側板	1	PWC
掃除用流し	SK22A, TK22, T23AEQ20C, TN114, T9R, T37SGEP リムカバー、横水栓、止水栓、バックハンガー、排水金具	1	前室
化粧鏡	YM4560A 非耐食、450x600	6	男性用トイレ 女性用トイレ

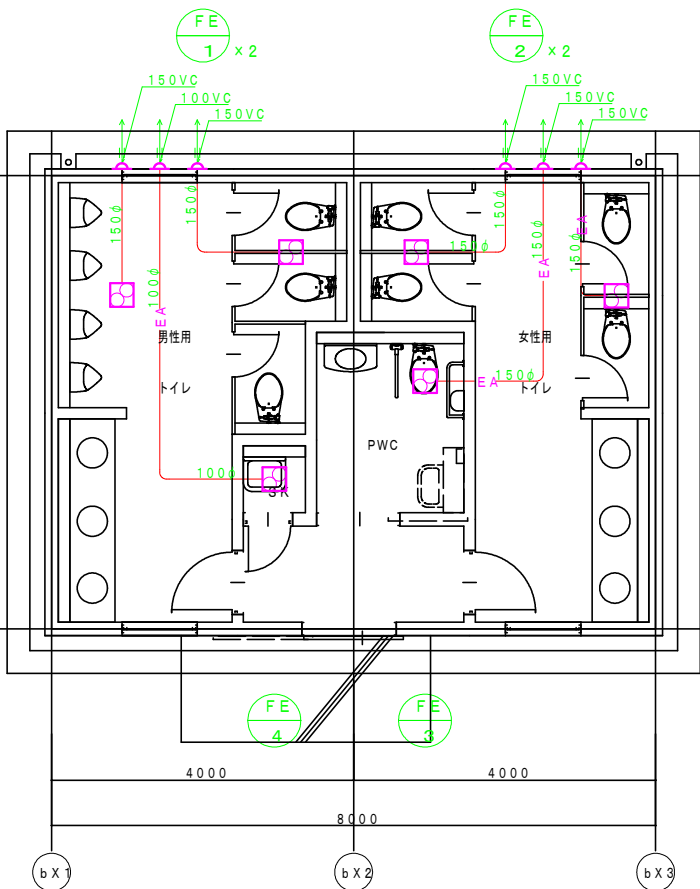
※カウンター、手すり等は建築工事とする。

機器表

記号	機器名	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	kW			
FE 1	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 260m ³ /h × 60Pa	1	100	49.0W	2	男性用トイレ	三菱電機：VD-20ZC10相当
FE 2	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 240m ³ /h × 40Pa	1	100	49.0W	2	女性用トイレ	三菱電機：VD-20ZC10相当
FE 3	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 150φ × 140m ³ /h × 40Pa	1	100	23.5W	1	PWC	三菱電機：VD-17ZSC10相当
FE 4	排気ファン	型式：天井埋込型換気扇 プラスチックグリル 100φ × 20m ³ /h × 40Pa	1	100	9.3W	1	SK	三菱電機：VD-10ZC10相当
FE 5	排気ファン	型式：有圧換気扇 低騒音形 30cm × 870m ³ /h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー（防鳥網付）、風圧式シャッター、バックガード 取付枠、その他付属品一式	1	100	50.0W	1	体育用具倉庫	三菱電機：EWF-30BSA相当
FE 6	排気ファン	型式：有圧換気扇 低騒音形 25cm × 390m ³ /h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー（防鳥網付）、風圧式シャッター、バックガード 取付枠、その他付属品一式	1	100	25.0W	1	物品保管庫	三菱電機：EWF-25ASA相当



（屋外トイレ） 衛生設備 平面詳細図



（屋外トイレ） 換気設備 平面詳細図